



大ト協海コン部会の役員会

夜間パトを強化へ

海コン部会 部会長が方針

大ト協海上コンテナ部会（山口与那雄部会長）は5月16日、研修センターで役員会を開き、通常総会に上程する28年度事業報告決算、29年度事業計画・予算案などを審議、原案通り承認した。同部会では「夜間の放置車両が以前の倍に増加している」と問題提起し、この発言を受けて役員からは「部会が

回けて夜間パトロールを強化する」という方針だ。この発言を受けて役員からは「部会が回けて夜間パトロールを強化する」という方針だ。この発言を受けて役員からは「部会が回けて夜間パトロールを強化する」という方針だ。

「エニツクの事故は、なげ起る。」をテーマにした左折事故防止DVDの作成・配布、運転者講習会、交通安全教室、クランク・湖東の安全運転研修、交通安全に特化したスキルアップ研修（計7回開催）、優良運転者表彰、永年勤続従業員表彰、献血事業などを実施した。決算は、事業活動収入が354.5万円、事業活動支出が357.0万円、収支差額は僅か1.5万円の不足となっているが、南大阪トック協同組合貸付金戻りの24.0万円があることから、これで不足金を補填し当期収支差額として21.5万円を計上。前期繰越収支差額と合わせて26.0万円を次期に繰り越した。28年度予算では、事業活動収入として338.5万円、事業活動支出として338.5万円、財務活動収入として24.0万円、準備費支出として55.0万円を計上している。